



今年の夏は猛暑に大雨と、自然が猛威を振るった季節となりました。町内を歩くと、いたるところに大雨の爪痕が残っています。安心して生活できる日が一日でも早く戻って来ますように。

くらむぼんに通う子どもたちは、新学期が始まりました。久しぶりの学校にハトハトで帰ってくる子どももいれば、お友達に会えたことを喜んでいる子どももいたり、様子は様々です。夏休み期間を通して大きく成長した子どもたち。心なしか顔つきも頼もしくなっているようです。



くらむぼんの日々



夏休みの活動で、あじさいグループは週に1回昼食づくりをしました。初日のメニューできゅうりの浅漬けを作った時のことです。他の子どもたちが思い思いに切り始める中、H君は手を膝に置いたままきゅうりをじっと見つめて動こうとしませんでした。どうしたのかな、と思い「難しかった?一緒にやってみようか?」と声をかけると「違う、どうやって切ったら写真みたいに上手に切れるか考えてたんだ」と返事がありました。H君は、はじめに「これが浅漬けだよ」と見せた完成の写真と目の前のきゅうりを見比べながら、頭の中でシミュレーションしていたのです。離れて様子を見てみると、しばらく見つめた後ゆっくりと包丁を手に取り「こうかな…」とつぶやきながら慎重に切り始めました。時間をかけて切り終えたH君の表情は達成感に満ち溢れていました。

初めて口にするものでも、いつもは苦手なものでも、自分で手を加えると不思議と食べられてしまう子どもたち。体験することで身近に感じることができ、挑戦する気持ちにつながるのかもしれない。そういう機会をたくさん提供できる場所でありたいと改めて感じる夏休みでした。

活動の様子

くらむぼん

新学期になって初めての工作。クリアファイルを使ったオリジナルマスクケースを作りました。クリアファイルを開いて型をとったものに、好きな絵を透かしてマジックでなぞります。はじめは「マスクケース?いらない」と冷たい反応が多かったのですが、作り始めると真剣な表情に。時間になっても気づかないほど集中していました。絵を描き終わって組み立てると、早速マスクを入れたり、お迎えに来た保護者に見せたり。他の子が作っているところへ来て「ここが難しいんよ」と教えてくれる子も。最後は喜んでくれて一安心でした。

ぴあ・くらぶ

近年は、花火大会も中止になり、なんだか寂しく感じていますが、ぴあ・くらぶの玄関横に綺麗な花火が打ちあがりました!!

紙コップスタンプの花火とはじき絵の花火。夜空は小麦粉絵の具を手で塗りました。

子どもたちの作品は本当にいいですね。同じ材料でも、ひとりひとりの「らしさ」が出て、同じにならない。子どもの感性って素敵だなあとみとれてしまいます。

